

科目名	情報処理演習P1/C1 ①	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	宇田 隆幸	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-1-410046	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p> <p>コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。</p> <p>初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ C 言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・ 簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%) 				
実務経験との関連性	情報システムの開発・製造に携わった経験を活かし、C言語教育で押さえるべきことを解説する。				

授業計画	
第1回	C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境
第2回	入出力
第3回	入出力, 演算, データ型

第4回	入出力, 演算, データ型のまとめ
第5回	分岐 (if) 基礎
第6回	分岐 (if) 応用 1
第7回	分岐 (if) 応用 2
第8回	くり返し (while) 基礎
第9回	くり返し (while) 応用
第10回	くり返し (for) 基礎
第11回	くり返し (for) 応用 1
第12回	くり返し (for) 応用 2
第13回	配列基礎

第14回	配列応用
第15回	まとめ、プログラミング課題によるテスト
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	次回の範囲を中心にテキストを予習すること（1時間）。
【復習】時間・内容	講義の内容を振り返り、テキストを復習し、類問のプログラム作成など、復習すること（1時間）。

成績評価	
評価基準・方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。
フィードバック方法	授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C、D

科目名	情報処理演習P1/C1 ②	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	中田 豊久	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-1-410046	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p> <p>コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。</p> <p>初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ C 言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・ 簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%) 				
実務経験との関連性	情報システムの開発・製造に携わった経験を活かし、C言語教育で押さえるべきことを解説する。				

授業計画	
第1回	C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境
第2回	入出力
第3回	入出力, 演算, データ型

第4回	入出力, 演算, データ型のまとめ
第5回	分岐 (if) 基礎
第6回	分岐 (if) 応用 1
第7回	分岐 (if) 応用 2
第8回	くり返し (while) 基礎
第9回	くり返し (while) 応用
第10回	くり返し (for) 基礎
第11回	くり返し (for) 応用 1
第12回	くり返し (for) 応用 2
第13回	配列基礎

第14回	配列応用
第15回	まとめ、プログラミング課題によるテスト
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	次回の範囲を中心にテキストを予習すること（1時間）。
【復習】時間・内容	講義の内容を振り返り、テキストを復習し、類問のプログラム作成など、復習すること（1時間）。

成績評価	
評価基準・方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。
フィードバック方法	授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C、D

科目名	情報処理演習P1/C1 ③	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	今井 博英	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-1-410046	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p> <p>コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。</p> <p>初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ C 言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・ 簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%) 				
実務経験との関連性	情報システムの開発・製造に携わった経験を活かし、C言語教育で押さえるべきことを解説する。				

授業計画	
第1回	C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境
第2回	入出力
第3回	入出力, 演算, データ型

第4回	入出力, 演算, データ型のまとめ
第5回	分岐 (if) 基礎
第6回	分岐 (if) 応用 1
第7回	分岐 (if) 応用 2
第8回	くり返し (while) 基礎
第9回	くり返し (while) 応用
第10回	くり返し (for) 基礎
第11回	くり返し (for) 応用 1
第12回	くり返し (for) 応用 2
第13回	配列基礎

第14回	配列応用
第15回	まとめ、プログラミング課題によるテスト
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	次回の範囲を中心にテキストを予習すること（1時間）。
【復習】時間・内容	講義の内容を振り返り、テキストを復習し、類問のプログラム作成など、復習すること（1時間）。

成績評価	
評価基準・方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。
フィードバック方法	授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C、D

科目名	情報処理演習P1/C1 ④	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	石川 洋	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-1-410046	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p> <p>コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。</p> <p>初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ C 言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・ 簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%) 				
実務経験との関連性	情報システムの開発・製造に携わった経験を活かし、C言語教育で押さえるべきことを解説する。				

授業計画	
第1回	C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境
第2回	入出力
第3回	入出力, 演算, データ型

第4回	入出力, 演算, データ型のまとめ
第5回	分岐 (if) 基礎
第6回	分岐 (if) 応用 1
第7回	分岐 (if) 応用 2
第8回	くり返し (while) 基礎
第9回	くり返し (while) 応用
第10回	くり返し (for) 基礎
第11回	くり返し (for) 応用 1
第12回	くり返し (for) 応用 2
第13回	配列基礎

第14回	配列応用
第15回	まとめ、プログラミング課題によるテスト
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	次回の範囲を中心にテキストを予習すること（1時間）。
【復習】時間・内容	講義の内容を振り返り、テキストを復習し、類問のプログラム作成など、復習すること（1時間）。

成績評価	
評価基準・方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。
フィードバック方法	授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C、D

科目名	情報処理演習P1/C1 ⑤	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	佐藤 徳子	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-1-410046	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーである『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p> <p>コンピュータを使用して、情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術の基本を、C言語を使って学習します。</p> <p>初めてC言語を学ぶ学生を対象とし、データ型、入出力処理、演算、制御構造、配列といったプログラミングの基本を学習します。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ C 言語によるプログラミングに関する基本を理解し、簡単な問題の解析を行うことができること。 (演習10%・小テスト10%・テスト15%) ・ 簡単なプログラム作成及びデバッグができるようになること。(演習40%・小テスト10%・テスト15%) 				
実務経験との関連性	情報システムの開発・製造に携わった経験を活かし、C言語教育で押さえるべきことを解説する。				

授業計画	
第1回	C言語によるプログラミングの基礎及びプログラミング環境
第2回	入出力
第3回	入出力, 演算, データ型

第4回	入出力, 演算, データ型のまとめ
第5回	分岐 (if) 基礎
第6回	分岐 (if) 応用 1
第7回	分岐 (if) 応用 2
第8回	くり返し (while) 基礎
第9回	くり返し (while) 応用
第10回	くり返し (for) 基礎
第11回	くり返し (for) 応用 1
第12回	くり返し (for) 応用 2
第13回	配列基礎

第14回	配列応用
第15回	まとめ、プログラミング課題によるテスト
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	次回の範囲を中心にテキストを予習すること（1時間）。
【復習】時間・内容	講義の内容を振り返り、テキストを復習し、類問のプログラム作成など、復習すること（1時間）。

成績評価	
評価基準・方法	各回演習と小テストの標準解（プログラム例）を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックします。
フィードバック方法	授業中に解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「新版 明解C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ・参考文献はその都度紹介します。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター利用規則を守ってください。 ・受講者の理解度により、内容を調整することがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：C、D